

日本の公立図書館におけるマンガの所蔵状況

安形輝(亜細亜大学)*
江藤正己(学習院女子大学)

杉江典子(駿河台大学)
大谷康晴(日本女子大学)
*agata@asia-u.ac.jp

安形麻理(慶應義塾大学)
橋詰秋子(国立国会図書館)

1. はじめに

マンガは長年、子どものための低俗な読みものであり、悪い影響を与えると考えられてきた。そのため、図書館はマンガを積極的に収集対象としてこなかった。しかし近年、マンガの価値が評価され社会に受け入れられ読者を拡大している。『出版指標年報2016』によると出版物全体の市場規模は1兆5,220億円、そのうち電子書籍も合わせたマンガは4,437億円(紙コミックは3,268億円)である¹⁾。また、2014年の電子書籍市場1,266億円のうち、1,024億円がコミック単行本である²⁾。日本のマンガは翻訳され、海外の大学・公共図書館でも所蔵されている³⁾。このように、市場規模が大きく、海外にも価値を認められているにもかかわらず、公立図書館でマンガを見る機会は少ない。マンガを図書館の蔵書に含めることに対する抵抗はいまだに残っていると考えられる。

公立図書館におけるマンガの所蔵に関する先行研究は少ない。西島は、2014年に全国の公立図書館4,596館を対象に、ベストセラー18タイトルの所蔵の有無を調査し、3割にあたる1,485館に所蔵があり、公立図書館では所蔵の割合が高く、県立図書館では低いという結果を示した⁴⁾。アメリカでは、Schneiderは米国の公立図書館を対象にメールで調査を行い、回答館のうち98.1%がgraphic novelを所蔵しているという結果を得た⁵⁾。Allenは、“Y: The Last Man”1巻の所蔵状況を、WorldCatを検索して調査し、298館が所蔵していることを明らかにした⁶⁾。さらにいくつかのタイトルの所蔵調査の結果と合わせ、複本は一つの図書館システムあたり2、3冊だろうと述べている。

上記の所蔵調査の対象となっているのは、マンガを一冊でも所蔵しているかどうか、あるいは著名な少数のタイトルの所蔵で、調査対象館も限られていることがほとんどであった。ある範囲の全マンガ出版物についての、ある地域のすべての公立図書館を対象にした調査は存在しない。そのため、大量に出版されるマンガのうち、どの程度が図書館に所蔵されているかは、把握できない。

日本国内のすべての大学図書館を対象に小山らが2011年末までの日本の全出版物について実施し

た調査は、一館でも所蔵されていたマンガは全体の8.4%と、他のタイプの資料に比べて極端に少ないことなどを明らかにしている⁷⁾。

本研究では、日本のすべての公立図書館における、マンガの所蔵状況を明らかにすることを目的とする。その結果をもとに、出版物の全体のどの程度が、公立図書館に所蔵されているか、どのようなマンガが公立図書館に所蔵されやすいかを検討する。

2. 調査方法

2.1 調査対象資料

調査対象としたマンガは、国立国会図書館所蔵の以下の条件を満たす図書で、29,795タイトルになる。

- ISBNが付与されている
- NDLCの記号がY84から始まる
- 2013年12月末までに出版されている(ISBNのあるタイトルのため1980年頃からが対象)

この調査対象資料のメタデータについては国会図書館サーチAPIにより入手した。上記の条件に合致するものは85,170件である。さらに、今回の調査では、シリーズ物については第一巻を所蔵した図書館はそれ以後も原則的には所蔵するだろうことを仮定し、調査対象を単巻もの、ないし、シリーズものの第一巻に限定した。具体的にはdcndl:volumeに”0”、”1”、”第1巻”、”1巻”、”第1集”、”v.1”、”vol.1”、”volume 1”、”上巻”が含まれるタイトルとした。

2.2 調査対象館

調査対象館は、カーリル⁸⁾で調査可能な全国の公立図書館とその類似施設(4,681館)である。国立国会図書館本館、関西館、国際子ども図書館は除いた。Web-OPACを公開している自治体で調査可能な日本の公立図書館を網羅していると考えられる。

2.3 調査方法

2016年6月～8月末に、調査対象資料のISBNを検索クエリとして、カーリルに所蔵調査を依頼して、所蔵の有無を調べた。なお、以下の調査結果では基本的には所蔵しているかを扱うが、複本も調査しており、必要に応じて適宜参照する。

3. 調査結果

3.1 所蔵が多いマンガ

3.1.1 よく所蔵されているタイトル

公立図書館によく所蔵されているマンガの上位 10 タイトルを表 1 に示す。3 タイトルを除く 7 タイトルはノンフィクションのエッセイマンガである。発行部数が多い少年、少女マンガではなく大人向けのエッセイマンガが公立図書館では好まれて所蔵されていることがわかる。また、映画化、ドラマ化などマンガ以外のメディアに展開したタイトルが上位に入っている。

この理由としては、選書基準や収集方針にマンガは原則的に収集しないとしている公立図書館が多い一方で、エッセイマンガは流通においてコミック扱いされないことから収集対象になること、公立図書館が選書に用いる TRC の新刊情報には、一般的なコミックは収録されていないが、エッセイマンガは収録されていることなどが考えられる。シリーズものの扱いが異なるため、単純な比較はできないが、大学図書館の既往調査と比較してコミック扱いされない(エッセイ)マンガが上位に来ている。

一番所蔵されているタイトルであっても、調査対象館全体に対する割合は 35.9%であった。一般書では大場らの既往調査では最も多く所蔵されていた単行書タイトルが 56.3%であったことと比べるとマンガは一般書と比べ、所蔵が抑制的である⁹⁾。

表 1 よく所蔵されているタイトル

著者	タイトル	館数
岡野雄一	ペコロスの母に会いに行く	1,678
こうの史代	夕風の街桜の国	1,220
西原理恵子	毎日かあさん(お入学編)	1,190
村上たかし	星守る犬	1,156
西原理恵子	毎日かあさん(背脂編)	1,150
ゆるりまい	わたしのウチには、なんにもない。	1,086
ほしよりこ	きょうの猫村さん	1,050
中村ユキ	わが家の母はビョーキです	1,038
中野きゆ美	日本人のちょっとヘンな英語	1,006
たかぎなおこ	ローカル線で温泉ひとりたび	975

3.1.2 よく所蔵されている著者

公立図書館によく所蔵されているマンガの著者、上位 12 人を表 2 に示す。所蔵タイトルと同様にエッセイマンガの著者が上位に多い傾向がある。いわゆる巨匠漫画家に相当するのは手塚治虫、水木しげる、里中満智子のみである。1位の「バラエティアートワークス」は『まんがで読破』シリーズの企画を行って

いるグループであり、単独の著者ではない。タイトルごとの平均所蔵数からは、『150cm ライフ。』などの著作を持つ「たかぎなおこ」は、公立図書館におけるベストセラー作家であることがわかる。唯一の外国人である「Schulz」はスヌーピーシリーズの著者である。

表 2 よく所蔵されている著者

著者名	館数	タイトル数	館数/ タイトル数
バラエティアートワークス	14,055	131	107.3
細川貂々	9,170	30	305.7
手塚治虫	8,610	262	32.9
小林よしのり	8,386	22	381.2
西原理恵子	6,437	22	292.6
たかぎなおこ	5,732	8	716.5
益田ミリ	5,095	15	339.7
水木しげる	4,991	89	56.1
里中満智子	4,429	32	138.4
小泉吉宏	3,997	8	499.6
Schulz, Charles Monroe	3,388	19	178.3
鈴木みき	2,283	6	380.5

3.1.3 よく所蔵されている出版社

公立図書館でよく所蔵されるマンガの出版社上位 10 社を表 3 に示す。小学館、講談社、集英社といったマンガの大手出版社は上位にきているが、出版しているタイトル数も多いため、タイトルごとの所蔵館数はそれほどでもない。一方で、文藝春秋のように

表 3 よく所蔵されている出版社

出版社	館数	タイトル数	館数/ タイトル数
小学館	30,067	3,597	8
講談社	25,335	3,799	7
メディアファクトリー	22,980	353	65
イースト・プレス	18,989	242	78
集英社	16,053	2,586	6
幻冬舎	12,627	244	52
宙出版	10,221	738	14
角川グループ パブリッシング	9,415	1,761	5
文藝春秋	7,417	47	158
双葉社	7,305	476	15

エッセイマンガを扱う出版社ではタイトルは少ないが所蔵館数は多い。メディアファクトリーは『コミックエッセイプチ大賞』を主催していた(現在は角川グループで実施)などエッセイマンガに強い出版社である。

3.1.4 出版年ごとの所蔵数

出版年ごとの所蔵館数の推移を表4に示す。1990年代以降タイトルごとの平均所蔵館数は10館弱である。細かく見ていくと2001～2003年までに所蔵タイトル数が増加し、その後は各年の全タイトルの所蔵は20,000～30,000館数で推移している。公立図書館は刊行後一定年限で除籍する館が多いため、一概には言えないが、2002年頃からマンガを所蔵する公立図書館が急増する傾向を観察できた。

表4 出版年代ごとの所蔵館数

	所蔵館数	タイトル数	所蔵館数/ タイトル数
1980年代	897	117	7.7
1990年代	2,245	246	9.1
2000年代	160,657	16,981	9.5
2010年代	119,137	12,444	9.6

3.1.5 判型別の所蔵数

判型(縦の長さ)ごとのタイトル数と所蔵数、また、それらの構成比を表5に示す。マンガをタイトルごとにみたときには、18cm(少年・少女マンガ)、19cm(青年・女性マンガ)の割合が支配的であるが、公立図書館の所蔵館数の構成比ではエッセイマンガが多く採用する判型である21cmの割合が最も高い。また、文庫版の判型である15cmの判型の割合も高い。これは大学図書館の既往調査と同様の傾向であり、図書館は文庫版を嗜好すると言える。

表5 判型ごとの所蔵数と構成比

大きさ	タイトル		所蔵タイトル		所蔵館	
	冊数	構成比	冊数	構成比	館数	構成比
15cm	1,640	6%	1,237	9%	29,233	11%
16cm	1,114	4%	984	7%	14,375	5%
17cm	18	0%	17	0%	463	0%
18cm	8,648	29%	4,880	35%	32,869	12%
19cm	11,968	41%	3,769	27%	41,195	15%
20cm	134	0%	125	1%	18,271	7%
21cm	5,464	19%	2,495	18%	119,947	44%
22cm	151	1%	109	1%	9,386	3%
24cm	16	0%	16	0%	2,250	1%
26cm	249	1%	117	1%	1,784	1%
27cm	33	0%	28	0%	1,068	0%
	29,435	100%	13,777	100%	270,841	100%

3.1.5 シリーズものか単巻ものか

今回の調査ではシリーズの第一巻か単巻ものを

調査対象としている。シリーズものと単巻もののタイトル数と所蔵館数を表6に示す。タイトルごとの平均所蔵館数からは、公立図書館では、単巻ものの方が所蔵される傾向にあることがわかる。

表6 シリーズ第一巻か単巻ものか

	タイトル数	所蔵館数	所蔵館数/ タイトル数
シリーズ第一巻	9,760	54,473	5.6
単巻もの	20,035	228,642	11.4
総計	29,795	283,115	

3.2 マンガを所蔵している図書館

3.2.1 公立図書館のマンガの所蔵タイトル数

所蔵しているタイトル数ごとの公立図書館の館数を表7に示す。マンガを一冊も所蔵していない図書館は4,681館のうち274館(5.9%)であった。大半の図書館は何かしらのマンガを所蔵していると言える。一方で所蔵タイトル数からは、100タイトル未満の館が81.4%であり、1,000タイトル未満の図書館が99.8%である。日本ではマンガの出版が活潑な一方で、公立図書館では積極的にマンガを所蔵しているわけではないことがわかる。

表7 公立図書館が所蔵するマンガのタイトル数

所蔵タイトル数	館数	累積割合
0	274	5.9%
1-9	1,223	32.0%
10-49	1,553	65.2%
50-99	758	81.4%
100-499	836	99.2%
500-999	29	99.8%
1000-	8	100.0%
	4,681	

3.2.2 マンガを多く所蔵している図書館

1,000タイトル以上のマンガを積極的に所蔵している図書館を表8に示す。広島市まんが図書館はタイトルを揃えているだけでなく複本数も多い。ただし、所蔵タイトル数が最多の広島市まんが図書館であっても調査対象資料のカバー率は7.5%であった。

マンガの所蔵に積極的な図書館はシリーズものの収集に積極的なことが多く、シリーズもの場合は第一巻のみを対象とする今回の調査手法ではカバー率が低くなっている。ただし、調査手法の課題は抜きにして、今回の調査対象となったマンガ29,795タ

イトルのうち、半数以上の 15,812 タイトルはどこの公立図書館も所蔵していなかった。

表 8 マンガを積極的に所蔵している図書館

図書館名	タイトル数
広島市まんが図書館	2,240
広島市まんが図書館あさ閲覧室	1,906
長浜市立びわ湖図書館	1,391
長浜市立高月図書館	1,390
君津市立中央図書館	1,339
稲沢市立平和町図書館	1,338
大阪市立中央図書館	1,251
白河市立図書館	1,082

3.2.2 マンガの都道府県別のカバー率

現在では 47 都道府県全てで都道府県内横断検索が提供されている。そうした状況では各都道府県の公立図書館をひとつの仮想的な図書館とみなすことができる。ここでは各都道府県の域内の公立図書館全体でのマンガのタイトルのカバー率を算出した。カバー率上位 5 位と下位 5 位を表 9 に示す。図書館数や資料費が多い東京都、大阪府に次いで、広島市まんが図書館や積極的な収集を行っている館がある広島県、滋賀県のカバー率が高い。

表 9 マンガの都道府県別のカバー率

都道府県	所蔵 タイトル数	カバー率 (N=29,795)	
上位 5 位	東京都	5,642	18.9%
	大阪府	5,483	18.4%
	広島県	4,534	15.2%
	滋賀県	4,341	14.6%
	愛知県	4,089	13.7%
下位 5 位	宮崎県	946	3.2%
	秋田県	925	3.1%
	山形県	906	3.0%
	奈良県	791	2.7%
	青森県	778	2.6%

マンガというジャンルについて、日本の公立図書館は単館でも都道府県単位でも網羅的に収集できていない現状が明らかになった。

4. まとめ

本調査では国会図書館所蔵のマンガを対象とした全国の公立図書館の所蔵調査を行なった。1) 公立図書館ではマンガの所蔵は他のタイプの資料に

比べ消極的である、2) 公立図書館での所蔵が多いマンガは、少年・少女マンガや青年・女性マンガではなく、エッセイマンガである、3) まんが図書館などの収集に積極的な図書館であってもカバー率は低い、4) 都道府県単位でもカバー率は低い、などが明らかになった。

謝辞

株式会社カーリルには公立図書館に対する所蔵調査を行っていただきました。感謝の意を表します。

【注・引用文献】

- 1) 出版指標年報 2016 年版. 出版科学研究所. 2016, 408p.
- 2) 電子書籍ビジネス調査報告書 2015. インプレス総合研究所. 2015, 388p.
- 3) たとえば以下など. Scott, Randall W. A practicing comic-book librarian surveys his collection and his craft. *Serials Review*. 1998, vol. 24, no. 1, p. 49-56.; Wagner, Cassie. Graphic novel collections in academic ARL libraries. *College & Research Libraries*. 2010, vol. 71, no. 1, p. 42-48. ; Masuchika, Glenn; Boldt, Gail. Japanese manga in translation and American graphic novels: A preliminary examination of the collections in 44 academic libraries. *The Journal of Academic Librarianship*. 2010, vol. 36, no. 6, p. 511-517.
- 4) 西島麻美. 日本の公共図書館におけるマンガの所蔵状況調査. 筑波大学, 2014. 卒業論文要旨. <http://klis.tsukuba.ac.jp/archives/2014/s1111535-2014122509265354209A.pdf>, (入手 2016-10-08).
- 5) Schneider, Edward Francis. A survey of graphic novel collection and use in American Public Libraries. *Evidence Based Library & Information Practice*. 2014, vol. 9, issue 3, p. 68-79.
- 6) Allen, Todd. Funnies business: Quantifying library penetration for graphic novels. *Publishers Weekly*. <http://www.publishersweekly.com/pw/by-topic/industry-news/comics/article/17561-funnies-business-quantifying-library-penetration-for-graphic-novels.html>, (入手 2016-10-08).
- 7) 小山信弥ほか 4 名. 日本の大学図書館におけるマンガの所蔵状況. 2012 年度三田図書館・情報学会研究大会発表論文集. 2012, p. 33-36. http://www.mslis.jp/am2012yoko/09_koyama.pdf, (入手 2016-10-08).
- 8) カーリル. <https://calil.jp/>
- 9) 大場博幸ほか 3 名. 図書館はどのような本を所蔵しているか: 2006 年上半期総刊行書籍を対象とした包括的所蔵調査. *日本図書館情報学会誌*. 2012, vol.58, no.3, p.139-154.